

議題 2 福津市備蓄計画の修正について

1. 諮問

福津市備蓄計画について（諮問）

2. 福津市備蓄計画（案）

- ・ 修正概要
- ・ 福津市備蓄計画 素案
- ・ 新旧対照表

8 福 危 第 3 9 2 号
令和 8 年 8 月 2 1 日

福津市防災会議 会長 様

福津市長 福 井 崇 郎



福津市備蓄計画について（諮問）

現行の福津市備蓄計画は、平成 2 6 年度に策定された福岡県備蓄計画の結果を基に策定し、市は防災・減災のための各種対策を進めてまいりました。

このような中、令和 7 年に福岡県が公表した「地震に関する防災アセスメント調査報告書」により、本市の想定避難者数が従来の想定を大幅に上回る結果が示されたことから、福津市備蓄計画を改定する必要性が生じています。

つきましては、福津市地域防災計画等の既存計画との整合性を図りながら、福津市備蓄計画を改定するにあたり、貴会議の意見を賜りたく、ここに諮問いたします。

ご検討にあたりましては、想定避難者数に対応した備蓄量の設定に関する妥当性、現代の生活様式に準じた備蓄品目の適正性等について、幅広くご審議いただきますようお願い申し上げます。

令和9年 月 福津市備蓄計画の修正の概要

1 修正の目的

今回の修正は、福岡県が令和7年9月に発表した「地震に関する防災アセスメント調査報告書」により、西山断層を起因とする地震が発生した場合、福津市内にて発生する避難者数が最大7,100人と想定されたことにより、公的備蓄数も7,100人の想定避難者数および職員数を補うために、備蓄数量及び備蓄品目を見直します。

2 修正の概要

- ① 避難者数の想定を変更(2,400人→7,100人)【P4】
- ② 備蓄品目の追加【P5】
 - ・食料品:パン、液体ミルク、離乳食の追加
 - ・日用品:使い捨ての哺乳瓶、おしりふきの追加
- ③ 人口データを令和8年のものに更新し、それに応じた、年代との区分割合も変更【P6】
- ④ 備蓄品の対象年齢、備蓄目標数の詳細を更新【P7】
- ⑤ 備蓄品の整備(購入)計画を更新【P13】
- ⑥ 家庭内備蓄を最低3日分、できれば1週間分の備蓄を推奨する表記に変更【P14】
- ⑦ 流通備蓄等に関する協定(災害時防災協定締結企業)の一覧表を更新【P16-P17】
- ⑧ 備蓄品の保管場所を更新【P18】

福津市備蓄計画 (案)

令和 8 年度

福岡県福津市

目 次

1	はじめに	3
2	計画策定に係る基本的考え方	3
	(1) 備蓄物資支給対象者数	4
	(2) 備蓄場所	4
	(3) 備蓄品目	5
	(4) 備蓄数	6
3	整備（購入）計画	14
	(1) 食料、飲料水	14
	(2) 日用品	14
	(3) 備品等	14
4	家庭内備蓄について	15
	(1) 食料	15
	(2) 飲料水	15
	(3) 日用品、備品等	15
5	企業内備蓄について	16
	(1) 食料、飲料水	16
	(2) 日用品、備品等	16
6	地域での備蓄について	16
7	流通備蓄について	17
8	備蓄物資の保管場所	19

1 はじめに

平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）では、東北地方太平洋側を中心に人的被害や建物被害等の甚大な被害をもたらしたほか、電気、ガス、水道等のライフラインが寸断されました。また、平成28年4月の熊本地震でも、広範囲に大きな被害をもたらし、復旧までに多くの時間と労力を要しています。

このような教訓を基に、国や地方自治体、地域、企業等では、防災、減災のための様々な対策が進められています。

もちろん福津市も例外ではなく、防災、減災のための各種対策を進めています。その一環として、平成26年度に策定された福岡県備蓄計画の結果を基に、「福津市備蓄計画」を策定することとしました。本計画においては、災害対策基本法に規定されている市民による日頃からの家庭内備蓄、企業等の事業所内備蓄、自主防災組織等の地域での備蓄といった自助、共助を基本としつつ、公助である市としても一定の備蓄を行うこととします。その他、企業等との協定による流通備蓄※注、国や県、他自治体等からの救援物資による補完も考慮し、市民、企業、行政等が一体となって災害時に備えた取り組みを行っていくことを目指します。

なお、本計画は、状況の変化や新たな課題などが生じた場合には、必要に応じて検討を加え、修正するものとします。

※注 流通備蓄：災害時に備え、市が企業等とあらかじめ協定を締結し、災害時に必要な物資等を調達すること。

2 計画策定に係る基本的考え方

災害時には、ライフラインの寸断や流通機能の低下による物資等の不足が懸念されることから、市民自らが日頃から必要な物資などを備蓄することが重要である。

しかし、市内において大規模かつ広範囲の災害が発生した場合、多数の避難者が生じることが予想されることから、市としては、自助、共助を基本としつつも、対策の一つとして食料、飲料水、日用品、備品等を計画的に備蓄します。

また、本計画は発災直後を想定して計画します。ストーマ用装具や気管孔エプロンなど医療装具が必要となる福祉避難所用備蓄品については、医師会等と相談しながら、その運営方法と併せて別途計画を進めます。

（１）備蓄物資支給対象者数

福岡県が実施した地震に関する防災アセスメント調査（令和７年９月）における調査結果を基に、福津市における発災当日避難者数については、最大約７，１００人（西山断層帯連動地震【冬１８時・強風】）が想定されていることを受け、７，１００人を対象とした備蓄計画を作成します。

避難者数の想定

災害の種類	避難者数	備考
地震	７，１００人	福岡県地震に関する防災アセスメント調査

上記に加え、職員分（６００人【正規職員・特別職職員・任期付職員・消防団員】）の非常食糧等を加えた量を備蓄します。

（２）備蓄場所

備蓄場所は備蓄品の保存期間に合わせて集中管理と分散管理に仕分けます。

集中管理場所は一部の例外を除き、市役所備蓄倉庫、津屋崎備蓄倉庫とし、分散管理の場所は原則として指定緊急避難場所と兼ねている指定避難所としますが、発電機等、その使用方法を郷づくり協議会にも熟知してもらう必要性により、郷づくり協議会の意見も踏まえ、備蓄場所を決定します。

また、必要に応じ物流企業等に対し、保管及び配送について業務委託を行います。

業務委託を行う場合、一日分の備蓄品は集中管理場所にて管理し、それ以外の備蓄品を業務委託先で保管することを基準として管理します。

食料・飲料水（保存期間５～１２年）

＝ 集中管理及び分散管理又は業務委託先にて保管

日用品（保存期間５年）

＝ 集中管理及び分散管理又は業務委託先にて保管

また、食料・飲料水・日用品は保存期間が５年～１２年であるため、保存期間が残り１年未満となったアルファ化米と飲料水は、防災意識の高揚を目指し、防災訓練、防災教育、市開催のイベント等での活用、希望する自主防災組織への配布等の有効活

用を図ります。

粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク（保存期間1.5年又は2年）

＝保育所集中管理又は業務委託先にて保管

粉ミルク及び液体ミルクは保存期間が極めて短いため、市保育所及び備蓄倉庫等において管理し、保育所の通常の業務内で期限の近いものから使用します。

備品（保存期間なし）＝指定避難場所分散管理又は業務委託先にて保管

発電機や投光器、車いす等の備品は避難所において使用するため市内9ヶ所の指定避難場所にて備蓄する。また、市役所にも同一機の予備を置き、故障等へ対応できる態勢をとります。

（３）備蓄品目

備蓄品目については、家屋の浸水や全半壊等によって避難する市民をはじめとした被災者に対して提供します。

ア．食料、飲料水

下記食品を基準として、必要数を備蓄するものとします。

①米飯類

3歳から69歳までの方の1日分（2食）として、栄養価が高く長期保存が可能な米飯類を備蓄します。また、食物アレルギー等の方に配慮し、アレルギー特定原材料等27品目を含まないアルファ化米も備蓄することとします。

②アレルギー対応米飯類（白粥等）

幼児、高齢者、食物アレルギー等の方の1日分（3食）として、アルファ化米の白粥等を備蓄します。

③パン

災害備蓄専用開発されたパン（アレルギー対応のものも含む）を1日分（1食）として備蓄します。

④離乳食

乳児（0歳から1歳）用として、離乳食を備蓄します。

⑤粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク

乳児（0歳から1歳）用として、粉ミルク（キューブ型）を備蓄します。

お湯が使用できない状況下においても、補給することができる液体ミルクを一定数備蓄します。

乳アレルギーの乳児向けにアレルギー対応ミルクも備蓄します。

⑥飲料水

想定される避難者全員に対して、1日分（3ℓ）を目安として備蓄することに加えて、乳児用ミルクを作るための水と哺乳瓶洗浄用の水も備蓄します。

イ．日用品

日用品については、避難生活において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。

①毛布、②紙おむつ（大人用）、③紙おむつ（乳幼児用）、④哺乳瓶（1/3をガラス製、2/3を使い捨てのものを備蓄する）、⑤ウェットティッシュペーパー、⑥生理用品、⑦トイレットペーパー、⑧簡易携帯トイレ（便袋）、⑨タオル、⑩口腔衛生用品（歯磨きシート）、⑪食器セット（プラスチックの皿、碗、先割れスプーン）、⑫ラップ、⑬おしりふき（大人用・子供用）

ウ．備品等

備品等については、特に避難所運営において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。

各指定避難所に備蓄倉庫1基を配備し、下記の備品を備蓄します。

①発電機、②投光器、③コードリール、④懐中電灯、⑤簡易ラジオ、⑥ブルーシート、⑦ロープ、⑧車いす、⑨折りたたみ式担架、⑩メガホン、⑪間仕切り（パーテーション）、⑫簡易式トイレ（本体及びテント）、⑬折りたたみ式リヤカー、⑭燃料携行缶、⑮発電機用エンジンオイル、⑯電池式ランタン、⑰電気製品用乾電池、⑱ガスコンロ、⑲ガスボンベ

各避難所に設置されている備蓄倉庫にて保管できない場合は、市役所別館倉庫や津屋崎備蓄倉庫等にて保管し、災害時必要に応じ各避難所へ搬出します。

（４）備蓄数

備蓄物資支給対象者数7,100人に配布する食料、飲料水、日用品について、年代と性別を考慮して、次のとおり目標数（割合）を設定します。

区 分	割合	備 考
3歳～ 69歳	71.4%	アルファ化米（五目御飯他）49,641人
2歳、 70歳以上	22.9%	アルファ化米（白粥）620+15,315人
0歳～1歳	1.5%	離乳食・粉ミルク・液体ミルク 1,078人
0歳～ 3歳	3.4%	紙おむつ（乳幼児用）2,355人
65 歳以上の介護認定者のうち要介護 3以上	1.49%	紙おむつ（大人用）1,035人
10歳～ 55歳の女性	27.0%	生理用品 18,774人

※割合は、令和 8年 5月 31日現在の住民基本台帳人口（69,596人）に基づき算定。

ア. 食料、飲料水

① 米飯類

【対象】 3歳から69歳まで及び職員等(600人)

【目標】 1人1日当たり2食として3日分

$$7,100人 \times 71.4\% \times 2食 = 10,138.8食 + 600 = 10,738.8食 \div 10,740食 \text{ (1日分)}$$

$$10,740食 \times 3日分 = 32,220食 \text{ (3日分)}$$

② パン類

【対象】 3歳から69歳まで及び職員(600人)

【目標】 1人1日当たり1食として3日分

$$7,100人 \times 71.4\% \times 1食 = 5,069.4食 + 600 = 5,669.4食 \div 5,670食 \text{ (1日分)} \times 3 \\ = 17,010食 \text{ (3日分)}$$

③アレルギー対応米飯類（幼児、高齢者対応用）

【対象】 2歳、70歳以上

【目標】 1人1日当たり3食として3日分

$$7,100人 \times 22.9\% \times 3食 = 4,877.7 \div 4,900食 \text{ (1日分)}$$

$$4,900食 \times 3日分 = 14,700食 \text{ (3日分)}$$

④離乳食

【対象】 乳児（0歳から1歳）

【目標】 1人1日当たり3食として3日分

$$7,100人 \times 1.5\% \times 3食 = 319.5 \div 320食 \text{ (1日分)}$$

$$320食 \times 3日分 = 960食 \text{ (3日分)}$$

⑤粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク

【対象】乳児（0歳から1歳）

【目標】（1）粉ミルク（1袋当たり27g）

1回当たり27 g (200ml 分) として1日2回分の54 g (400ml分) として3日分
 $7,100人 \times 1.5\% \times 54 \text{ g} / \text{日} = 5,751 \text{ g} \div 5,800 \text{ g} = 214.8 \text{ 袋} \div 215 \text{ 袋 (1日分)}$
 $5,800 \text{ g} \times 3 \text{ 日分} = 17,400 \text{ g} \div 27 \text{ g} = 644.4 \text{ 袋} \div 645 \text{ 袋 (3日分)}$

（2）液体ミルク（1缶あたり120ml 又は240ml）

1回あたり240ml として1日3回分の720ml として3日分

$7,100人 \times 1.5\% \times 720 \text{ ml} = 76,680 \text{ ml}$

$76,680 \text{ ml} \div 120 \text{ ml} / \text{缶} = 639 \text{ (缶)} \div 640 \text{ 缶 (1日分)}$ 240ml なら320缶

$640 \text{ (缶)} \times 3 = 1920 \text{ 缶 (3日分)}$ 240ml なら960缶

【アタッチメント】

$7,100人 \times 1.5\% = 106.5 \text{ 個} \div 107 \text{ 個}$

（3）アレルギー対応ミルク

（対象：乳児の0.46%【0-1歳の相談件数年間2-5人ほど0-1歳全人口(1,078人)の5人を対象として割合を算出】）

1回あたり26.1 g (180ml分) として1日5回分の130.5 g

$(7,100人 \times 1.5\%) \times 0.46\% = 0.4899 \text{ 人} \div 1 \text{ 人}$

$130.5 \text{ g} \times 1 \text{ 人} = 130.5 \text{ g (1日分)}$

$130.5 \text{ g} \times 3 \text{ 日} = 391.5 \text{ g (3日分)}$

⑥ 飲料水

【対象】避難者全員及び職員

【目標】1人1日当たり3ℓ（500ml換算で6本）＋ミルク用＋哺乳瓶洗浄用として3日分。

$(7,000人 \times 6 \text{ 本}) + (7,100人 \times 1.5\% \times 1 \text{ 本}) + (7,100人 \times 1.5\% \times 1 \text{ 本})$

$= 42,213 \div 42,220 \text{ 本 (1日分)}$

$42,220 \times 3 = 126,660 \text{ 本 (3日分)}$

※500ml＝1本として換算。

イ. 日用品

①毛布

【対象】避難者全員

【目標】1人当たり1枚を避難者全員

$$7,100\text{枚}/人 \div 7,100\text{枚}$$

②紙おむつ（大人用）

【対象】65歳以上の介護認定者のうち要介護 3以上

【目標】1人1日当たり 6 枚として

$$7,100\text{人} \times 1.49\% \times 6\text{枚}/\text{日} = 634.74 \div 640\text{枚}(1\text{日分})$$

$$640\text{枚} \times 3\text{日分} = 1,920\text{枚}(3\text{日分})$$

③紙おむつ（乳幼児用）

【対象】0歳から3歳まで

【目標】1人1日当たり8枚として

$$7,100\text{人} \times 3.4\% \times 8\text{枚}/\text{日} = 1,931.2 \div 1,940\text{枚}(1\text{日分})$$

$$1,940\text{枚} \times 3\text{日分} = 5,820\text{枚}(3\text{日分})$$

④哺乳瓶

【対象】乳児（0歳から1歳）

【目標】1人当たり1本

$$7,100\text{人} \times 1.5\% \times 1\text{本}/\text{日} \times 1/3 = 35.5 \div 36\text{本}$$

⑤哺乳瓶（使い捨て哺乳瓶）

【対象】乳児(0歳から1歳)

【目標】1人1日あたり2本（粉ミルク使用時用）

$$7,100\text{人} \times 1.5\% \times 2\text{本}/\text{日} \times 2/3 = 142\text{本}$$

⑥ウェットティッシュペーパー（アルコールタイプも含む）

【対象】避難者全員

ウェットティッシュペーパー（ノンアルコールタイプ）

【目標】1人当たり1袋

$7,100 \text{人} \times 1 \text{袋} = 7,100 \text{袋} (3 \text{日分})$

ウェットティッシュペーパー（アルコールタイプ）

【目標】1避難所1日当たり3袋として3日分

$27 \text{避難所} \times 3 \text{袋} = 81 \text{袋} (1 \text{日分})$

$81 \text{袋} \times 3 \text{日分} = 243 \text{袋}$

⑦生理用品

【対象】10歳から55歳までの女性

【目標】4週間に1回として換算し1人1日当たり8枚として3日分

$7,100 \text{人} \times 27.0\% \div 4 \text{週} \times 8 \text{枚/日} \times 1 \text{日} = 3,834 \text{枚} \div 3,840 \text{枚} (1 \text{日分})$

$3,840 \text{枚} \times 3 \text{日分} = 11,520 \text{枚}$

⑧トイレットペーパー

【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（ $100\% - 3.4\% - 1.49\% = 95.11\%$ ）

【目標】1人1回80cm×5回＝1日当たり4mとして3日分

$7,100 \text{人} \times 95.11\% \times 4 \text{m/日} \times 1 \text{日} \div 60 \text{m/ロール} = 450.187 \text{ロール}$

$\div 460 \text{ロール} (1 \text{日分})$

$460 \text{ロール} \times 3 \text{日分} = 1,380 \text{ロール}$

※60m＝1ロールとして換算。

⑨簡易携帯トイレ（便袋）

【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（ $100\% - 3.4\% - 1.49\% = 95.11\%$ ）及び職員等

【目標】1人1日当たり5袋（1袋＝1回分）として3日分

$7,100 \text{人} \times 95.11\% \times 5 \text{袋} \times 1 \text{日} = 33,764.05 + (600 \times 5) = 36,764.05 \text{枚} (1 \text{日分})$

$\div 36,770 \text{枚}$

$36,770 \text{枚} \times 3 \text{日分} = 110,310 \text{袋} (3 \text{日分})$

⑩タオル

【対象】避難者全員

【目標】1人1日当たり1枚を避難者全員

$$7,100\text{枚}/\text{人}=7,100\text{枚}(1\text{日分})$$

$$7,100\text{枚}\times 3\text{日分}=21,300\text{枚}(3\text{日分})$$

⑪口腔衛生用品（歯磨きシート）

【対象】避難者全員

【目標】1人1日当たり3枚として3日分

$$7,100/\text{人}\times 3\text{枚}=21,300\text{枚}(1\text{日分})$$

$$21,300\text{枚}\times 3\text{日分}=63,900\text{袋}$$

⑫食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）

【対象】2歳以上の避難者全員

【目標】1人当たり皿、椀、先割れスプーン各1個のセット

$$7,100\text{セット}\times 98.5\%=7,000\text{セット}$$

⑬ラップ

【対象】2歳以上の避難者全員

【目標】1人当たり1m/日として3日分

$$7,100\text{人}\times 1\text{m}\times 98.5\%=6,993.5\div 7,000\text{m}(1\text{日分})$$

$$7,000\text{m}\times 3\text{日分}=21,000\text{m}$$

$$1\text{本(巻)}\ 100\text{m}\text{として、}70\text{本(巻)}\quad \text{【1日分】}210\text{本(巻)}\quad \text{【3日分】}$$

⑭おしりふき（大人用）

【対象】65歳以上の介護認定者のうち要介護3以上

【目標】1人当たり1袋

$$7,100\text{人}\times 1.49\%=105.79\div 110\text{袋}(3\text{日分})$$

⑮おしりふき（乳幼児用）

【対象】0歳から3歳まで

【目標】1人当たり1袋

$$7,100\text{人}\times 3.4\%=241.4\div 250\text{袋}(3\text{日分})$$

ウ. 備品等

①発電機

【目標】 自家用発電設備等を有していない指定避難場所1か所当たり2台

②投光器

【目標】 指定避難場所1か所当たり2台

③コードリール (20m)

【目標】 指定避難場所1か所当たり2個

④懐中電灯

【目標】 指定避難場所1か所当たり2個

⑤簡易ラジオ

【目標】 指定避難場所1か所当たり2台

⑥ブルーシート (10m×10m)

【目標】 指定避難場所1か所当たり4枚

⑦ロープ (20m)

【目標】 指定避難場所1か所当たり1巻

⑧車いす

【目標】 指定避難場所1か所当たり1台

⑨折りたたみ式担架

【目標】 指定避難場所1か所当たり1台

⑩メガホン

【目標】 指定避難場所1か所当たり2台

⑪間仕切り (パーテーション)

【目標】 指定避難場所1か所当たり4セット

⑫簡易式トイレ (本体及びテント)

【目標】 指定避難場所1か所当たり6台

⑬折りたたみ式リヤカー

【目標】 指定避難場所1か所当たり1台

⑭燃料携行缶 (20ℓ)

【目標】 発電機1台当たり1缶

⑮発電機用燃料 (20ℓ)

【目標】 発電機1台当たり20ℓ

⑯発電機用エンジンオイル (10年保存可能分)

【目標】 発電機1台当たり1缶

⑰電池式ランタン

【目標】 指定避難場所1か所当たり5台

⑱電気製品用乾電池（使用推奨期限10年のアルカリ乾電池等）

【目標】 指定避難場所1か所で備蓄している電気製品1回分の電池

⑲ガスコンロ

【目標】 指定避難場所1か所当たり2台

⑳ガスボンベ（7年保存可能分）

【目標】 ガスコンロ1台当たり2缶

3 整備（購入）計画

備蓄品の整備（購入）について、次のとおり計画します。

整備を始める初年度に整備前の食料・飲料水、日用品、備品の備蓄状況を鑑み必要量を購入します。次年度以降からは食料・飲料水は必要全量から保存期間で除した量を毎年均等に整備します。日用品について、品質保証期限のないものについては、基本、5年を保存期間とし整備しますが、保存状態を確認しながら、品目により保存期間は設定していきます。

（１）食料、飲料水

食料品と飲料水は保存期間5年以上のもの、粉ミルク及び液体ミルク等は保存期間18か月以上かつ個包装のものを購入します。具体的には、現在の備蓄量や保存期間から総合的に勘案し、計画的に購入していきます。

また、粉ミルク及び液体ミルク等については、市立保育所との連携で、無駄のない活用を図っていきます。

（２）日用品

ア．毛布

保存、衛生面を考慮して、必要に応じ真空パック入りのものを購入します。

イ．紙おむつ、哺乳瓶、ウェットティッシュペーパー、生理用品、トイレットペーパー、簡易携帯トイレ（便袋）、タオル、口腔衛生用品（歯磨きシート）、食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）、ラップ、おしりふき

保存状態や衛生面を考慮しながら、計画的に購入、更新します。

備蓄物資として適さなくなった場合は、可能な限り再利用等を検討します。

（３）備品等

保存状況や耐用年数等を考慮しながら、計画的に購入、更新します。

4 家庭内備蓄について

様々な媒体や機会を通じて家庭や地域、事業所等における備蓄の重要性について継続的に広報し、家庭内等の備蓄を促進、充実させていきます。

＜家庭で備蓄することが望ましい物＞

(1) 食料

- ・最低3日分、できれば1週間分を備蓄すべき物資の目安とする。
- ・日常生活に使い、乾物類のように長期間の保存に耐えられるもの
- ・持ち運びに便利で、調理に手間がかからないもの
- ・必要最小限のエネルギーや栄養を確保できるもの

(例示)

主食	アルファ化米、レトルト食品、米、冷凍食品、即席めん、パスタ、ビスケット、クラッカー、シリアル等
主菜 副菜	缶詰、レトルト食品、乾燥食品（ひじき、わかめ、昆布、高野豆腐、干し椎茸、かんぴょう、切り干し大根等）、梅干、漬物、らっきょう 等
汁物	インスタントスープ類
調味料	砂糖、塩、みそ、しょうゆ、酢、コンソメ等
嗜好品	あめ、チョコレート、果物缶詰、スナック菓子、ふりかけ等
飲料	ミネラルウォーター、お茶類、スポーツ飲料、野菜ジュース、スキムミルク等

(2) 飲料水

- ・1人当たり1日3ℓ以上
- ・保存期間の長いもの

(3) 日用品、備品等

携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、軍手、タオル、ウェットティッシュペーパー、救急セット、使い捨てカイロ、カセットコンロ等

5 企業内備蓄について

企業等においても、管理する施設の耐震性や耐火性の強化、収容物等の転落防止等に取り組み、従業員や来客等の安全確保に努める必要があります。また、帰宅困難者対策のための備蓄が大切です。

＜企業等で備蓄することが望ましいもの＞

(1) 食料、飲料水

3日分以上

(2) 日用品、備品等

毛布、医薬品、懐中電灯、ラジオ、乾電池、ヘルメット、軍手等

6 地域での備蓄について

地域内の家庭や企業（事業所）、市等と具体的な協議を行った上で有機的な連携を図り、それぞれの備蓄物資が最も効果的、効率的に機能するような備蓄を進めていくことが大切です。

7 流通備蓄について

市は、企業等とあらかじめ協定を締結し、災害が起こった場合、必要な物資等を調達する流通備蓄を進めています。現在は、次のとおり流通備蓄に関する協定を締結していますが、重層化してより実効性のある流通備蓄とするため、今後も協定の締結を進めていきます。なお、協定を締結した企業等の中には、重機による復旧作業提供や放送による情報提供等、流通備蓄以外のサービスも含まれています。

【流通備蓄等に関する協定一覧】

団体・個人企業名	主な業種
福津市内等郵便局	郵便配達業務
宗像建設協会	建設業者の団体運営
福岡土木協同組合	土木建設業
NPO法人コメリ災害対策センター	防災関連物資、災害復旧物資
平元産業株式会社宗像支店	土木工事業
(株)かねやす福岡店	土嚢袋等建設資材
株式会社丸宗土木	土木建設業
有限会社アクロス	土木建設業
株式会社福津建設	土木建設業
株式会社地建開発	土木工事業
株式会社松原組	土木建設業
宗像建築組合	建築業者の団体運営
有限会社柴田工業	土木工事業
小野産業株式会社	土木工事業
日本道路株式会社福岡営業所	土木工事業
国土交通省九州地方整備局	官公庁
イオンモール株式会社	食料・生活物資
イオン九州株式会社	食料・生活物資
宗像医師会	医療救護活動
ジェイコム九州	コミュニティチャンネル放送
福岡県公共嘱託土地家屋調査士協会	土地家屋調査
福岡県立光陵高等学校	県有施設
福岡県立水産高等学校	県有施設
社会福祉法人南十字福祉会	福祉避難所
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	清涼飲料水販売
福津市内郵便局(日本郵便)	郵便配達業務
株式会社 創優	土木建設業

株式会社 ゼンリン	地図製作、販売業
宗像農業協同組合	農業協同組合
キューヘングリーンサービス株式会社	建設業(除去作業等)、重機の提供
宗像地区事務組合	水道事業
まつみ(株)	造園業
(株)西住設備	水道工事 官工事
九州朝日放送(株)	メディア (テレビ・ラジオ)
医療法人宗像水光会総合病院	医療機関 (福祉避難所)
一般社団法人宗像医師会病院	医療機関 (福祉避難所)
医療法人庄正会蜂須賀病院	医療機関 (福祉避難所)
(株)ミスターマックス	食糧・生活物資の販売
三角商事(株)	食糧・生活物資の販売
(株)グッデイ	防災関連物資の販売 災害復旧物資の販売
(株)ゆめマート北九州	食糧・生活物資の販売
マックスバリュ九州(株)	食糧・生活物資の販売
ダイレックス(株)	食糧・生活物資の販売
社会福祉法人福津市社会福祉協議会	災害時のボランティア活動
ヤフー(株)	災害時の情報発信
宗像農業協同組合	物資集配拠点施設
(株)西鉄ストア	食糧・生活物資の販売
グリーンコープ生活協同組合ふくおか	食糧・生活物資の販売
(有)ウメダ	土木工事業
ヤマト運輸(株)北九州主管支店	救援物資の集積場所での物資管理及び配送
(株)ナフコ	物資の供給
九州電力送配電(株)福岡配電事業所	電気事業
(株)ダイナム	災害ボランティア等の活動拠点として駐車場及び 店舗施設の一部の貸し出し
西日本電信電話(株)	特設公衆電話の設置及び利用・管理等に関する協定
吉水塗装 株式会社	資材・物資の運搬、撤去作業支援
福岡県行政書士会	行政書士業務

(令和8年7月現在)

8 備蓄物資の保管場所

1	福津市役所
2	津屋崎倉庫
3	ふくとぴあ
4	中央公民館（避難所運営関係物資のみ）
5	福津市複合文化センター文化会館（避難所運営関係物資のみ）
6	宮司コミュニティセンター
7	上西郷小学校
8	神興小学校
9	神興東小学校
10	福間小学校
11	福間南郷づくり交流センター
12	勝浦小学校
13	大和保育園（ミルクのみ）
14	原町公民館（避難所運営関係物資のみ）
15	福間会館（避難所運営関係物資のみ）
16	上西郷郷づくり交流センター（避難所運営関係物資のみ）
17	農林漁業体験実習館「あんずの里」（避難所運営関係物資のみ）

上記以外に、必要に応じ物資管理委託業者が管理する物流倉庫を活用し、備蓄物資の管理保管を行います。

福津市備蓄計画

令和9年 月

発行 福津市

編集 福津市 総務部 危機管理課

〒811-3293 福岡県福津市中央1丁目1-1

福津市役所本館2階

TEL 0940-43-8107

FAX 0940-43-3168

E-mail anzen@city.fukutsu.lg.jp

ページ	新	旧
表紙	福津市備蓄計画 (案) <u>令和 8 年度</u> 福岡県福津市	福津市備蓄計画 <u>平成 2 8 年度</u> 福岡県福津市

P2	目 次	目 次
	1 はじめに <u>3</u>	1 はじめに <u>3</u>
	2 計画策定に係る基本的考え方 <u>3</u>	2 計画策定に係る基本的考え方 <u>3</u>
	（1）備蓄物資支給対象者数 <u>4</u>	（1）備蓄物資支給対象者数 <u>4</u>
	（2）備蓄場所 <u>4</u>	（2）備蓄場所 <u>4</u>
	（3）備蓄品目 <u>5</u>	（3）備蓄品目 <u>5</u>
	（4）備蓄数 <u>6</u>	（4）備蓄数 <u>6</u>
	3 整備（購入）計画 <u>1 4</u>	3 整備（購入）計画 <u>1 0</u>
	（1）食料、飲料水 <u>1 4</u>	（1）食料、飲料水 <u>1 0</u>
	（2）日用品 <u>1 4</u>	（2）日用品 <u>1 0</u>
	（3）備品等 <u>1 4</u>	（3）備品等 <u>1 0</u>
	4 家庭内備蓄について <u>1 5</u>	4 家庭内備蓄について <u>1 1</u>
	（1）食料 <u>1 5</u>	（1）食料 <u>1 1</u>
	（2）飲料水 <u>1 5</u>	（2）飲料水 <u>1 1</u>
	（3）日用品、備品等 <u>1 5</u>	（3）日用品、備品等 <u>1 1</u>
	5 企業内備蓄について <u>1 6</u>	5 企業内備蓄について <u>1 1</u>
	（1）食料、飲料水 <u>1 6</u>	（1）食料、飲料水 <u>1 2</u>
	（2）日用品、備品等 <u>1 6</u>	（2）日用品、備品等 <u>1 2</u>
	6 地域での備蓄について <u>1 6</u>	6 地域での備蓄について <u>1 2</u>
	7 流通備蓄について <u>1 7</u>	7 流通備蓄について <u>1 2</u>
	8 備蓄物資の保管場所 <u>1 9</u>	8 備蓄物資の保管場所 <u>1 4</u>

P4	（１）備蓄物資支給対象者数 福岡県が実施した地震に関する防災アセスメント調査（令和 7 年 9 月）における調査結果を基に、福津市における発災当日避難者数については、最大約 7, 1 0 0 人（西山断層帯連動地震【冬 1 8 時・強風】）が想定されていることを受け、7, 1 0 0 人を対象とした備蓄計画を作成します。 避難者数の想定 <table><tr><th>災害の種類</th><th>避難者数</th><th>備考</th></tr><tr><td>地震</td><td>7, 1 0 0 人</td><td>福岡県地震に関する防災アセスメント調査</td></tr></table> 上記に加え、職員分（6 0 0 人【正規職員・特別職職員・任期付職員・消防団員】）の非常食糧等を加えた量を備蓄します。 （２）備蓄場所 備蓄場所は備蓄品の保存期間に合わせて集中管理と分散管理に仕分けます。 集中管理場所は一部の例外を除き、市役所備蓄倉庫、津屋崎備蓄倉庫とし、分散管理の場所は原則として指定緊急避難場所と兼ねている指定避難所としますが、発電機等、その使用方法を郷づくり協議会にも熟知してもらう必要性により、郷づくり協議会の意見も踏まえ、備蓄場所を決定します。 また、必要に応じ物流企業等に対し、保管及び配送について業務委託を行います。 業務委託を行う場合、一日分の備蓄品は集中管理場所にて管理し、それ以外の備蓄品を業務委託先で保管することを基準として管理します。 食料・飲料水（保存期間 5 ～ 1 2 年） ＝ 集中管理及び分散管理又は業務委託先にて保管 日用品（保存期間 5 年） ＝ 集中管理及び分散管理又は業務委託先にて保管	災害の種類	避難者数	備考	地震	7, 1 0 0 人	福岡県地震に関する防災アセスメント調査	（１）備蓄物資支給対象者数 福岡県の地震時の避難者想定では 9 6 0 人となっていますが、この調査は平成 2 4 年 3 月のものであるため、時点修正を行うと 1, 0 5 0 人となります。しかし、この避難者数は家屋が全壊した世帯を想定したもので、熊本地震では二度の震度 7 を記録しました。今後は、半壊家屋でも二度目は全壊になる可能性があるため、全壊世帯だけでない避難者が増加することが大いに予想されます。よって、半壊世帯も含めた想定を市独自で行いました。 この結果、最大避難者である 2, 4 0 0 人を対象とした備蓄計画を作成します。 災害別避難者数の想定 <table><tr><th>災害の種類</th><th>避難者数</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">地震</td><td>全壊 1, 0 5 0 人</td><td>福岡県地震に関する防災アセスメント調査</td></tr><tr><td>全壊・半壊 2, 4 0 0 人</td><td>同上</td></tr><tr><td>津波</td><td>家屋半壊 2 棟</td><td>同上</td></tr><tr><td>風水害</td><td>2, 3 9 3 人</td><td>福津市避難計画（風水害）</td></tr></table> （２）備蓄場所 備蓄場所は備蓄品の保存期間に合わせて集中管理と分散管理とに仕分けします。 集中管理場所は一部の例外を除き、市役所備蓄倉庫、津屋崎備蓄倉庫とし、分散管理の場所は原則として指定緊急避難場所と兼ねている指定避難場所とします。 ただし、指定緊急避難場所は各郷づくりに 1 箇所ありますが、発電機等、その使用方法を郷づくり協議会にも熟知してもらう必要性により、郷づくり協議会の意見も踏まえたうえ、備蓄場所を決定します。 食料・飲料水（保存期間 5 ～ 1 2 年）＝ 市役所集中管理 日用品（保存期間 5 年）＝ 市役所集中管理 災害被害状況は一定でなく地域差が起きることが予想されます。よって、食料・飲料水や日用品は市の集中管理とし被災の程度により各避難所へ届けます。	災害の種類	避難者数	備考	地震	全壊 1, 0 5 0 人	福岡県地震に関する防災アセスメント調査	全壊・半壊 2, 4 0 0 人	同上	津波	家屋半壊 2 棟	同上	風水害	2, 3 9 3 人	福津市避難計画（風水害）
災害の種類	避難者数	備考																				
地震	7, 1 0 0 人	福岡県地震に関する防災アセスメント調査																				
災害の種類	避難者数	備考																				
地震	全壊 1, 0 5 0 人	福岡県地震に関する防災アセスメント調査																				
	全壊・半壊 2, 4 0 0 人	同上																				
津波	家屋半壊 2 棟	同上																				
風水害	2, 3 9 3 人	福津市避難計画（風水害）																				

P5	また、食料・飲料水・日用品は保存期間が５年～１２年であるため、保存期間が残り１年未満となったアルファ化米と飲料水は、防災意識の高揚を目指し、防災訓練、防災教育、市開催のイベント等での活用、希望する自主防災組織への配布等の有効活用を図ります。 <u>粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク（保存期間 1.5 年又は 2 年）</u> <u>＝保育所集中管理又は業務委託先にて保管</u> 粉ミルク及び液体ミルクは保存期間が極めて短いため、市保育所及び備蓄倉庫等において管理し、保育所の通常の業務内で期限の近いものから使用します。 <u>備品（保存期間なし）＝指定避難場所分散管理又は業務委託先にて保管</u> 発電機や投光器、車いす等の備品は避難所において使用するため市内９ヶ所の指定避難場所にて備蓄する。また、市役所にも同一機の予備を置き、故障等へ対応できる態勢をとります。 （３）備蓄品目 備蓄品目については、家屋の浸水や全半壊等によって避難する市民をはじめとした被災者に対して提供します。 ア．食料、飲料水 下記食品を基準として、必要数を備蓄するものとします。 ① 米飯類 ３歳から６９歳までの方の<u>１日分（２食）</u>として、栄養価が高く長期保存が可能な米飯類を備蓄します。また、食物アレルギー等の方に配慮し、アレルギー特定原材料等２７品目を含まないアルファ化米も備蓄することとします。 ②アレルギー対応米飯類（白粥等） 幼児、高齢者、食物アレルギー等の方の１日分（３食）として、<u>アルファ化米の白粥等</u>を備蓄します。 ③パン <u>災害備蓄専用</u>に開発されたパン（アレルギー対応のものも含む）を１日分（１食）として備蓄します。 ④離乳食 乳児（０歳から１歳）用として、離乳食を備蓄します。	また、食料・飲料水・日用品は保存期間が５年～１２年であるため、保存期間が残り１年未満となったアルファ化米と飲料水は、防災意識の高揚を目指し、防災訓練、防災教育、市開催のイベント等での活用、希望する自主防災組織への配布等の有効活用を図ります。 <u>粉ミルク（保存期間 1.5 年）</u>＝保育所集中管理 粉ミルクは保存期間が極めて短いため、市保育所において管理し、保育所の通常の業務内で期限の近いものから使用をして行きます。 <u>備品（保存期間なし）＝指定緊急避難場所分散管理</u> 発電機や投光器、車いす等の備品は避難所において使用するため市内９ヶ所の指定避難場所での備蓄とします。また、市役所にも同一機の予備を置き、故障等へ対応します。 （３）備蓄品目 備蓄品目については、家屋の浸水や全半壊等によって避難する市民にとって、<u>発災から流通備蓄や救援物資等が届くまでの間、緊急かつ必要不可欠な食料、飲料水、日用品等の避難生活に必要な物資とします。</u> ア．食料、飲料水 ①アルファ化米 ３歳から６９歳までの方の<u>１日分（３食）</u>として、栄養価が高く長期保存が可能なアルファ化米のうち、五目御飯等の副食が不要なものを備蓄します。また、食物アレルギー等の方に配慮し、アレルギー特定原材料等２７品目を含まないアルファ化米も備蓄することとします。 ② <u>アルファ化米（白粥）</u> 幼児、高齢者、食物アレルギー等の方の１日分（３食）として、<u>アルファ化米の白粥</u>を備蓄します。
-----------	---	--

P6	<u>⑤粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク</u> 乳児（0歳から1歳）用として、粉ミルク（キューブ型）を備蓄します。 お湯が使用できない状況下においても、補給することができる液体ミルク（アレルギー対応のものも含む）を一定数備蓄します。 乳アレルギーの乳児向けにアレルギー対応ミルクも備蓄します。 ⑥飲料水 想定される避難者全員に対して、<u>1日分（3ℓ）を目安として備蓄することに加えて、乳児用ミルクを作るための水と哺乳瓶洗浄用の水も備蓄します。</u> イ. 日用品 日用品については、避難生活において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。 ①毛布、②紙おむつ（大人用）、③紙おむつ（乳幼児用）、④哺乳瓶（<u>1/3をガラス製、2/3を使い捨てのものを備蓄する</u>）、⑤ウェットティッシュペーパー、⑥生理用品、⑦トイレットペーパー、⑧簡易携帯トイレ（便袋）、⑨タオル、⑩口腔衛生用品（歯磨きシート）、⑪食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）、⑫ラップ、⑬おしりふき（大人用・子供用） ウ. 備品等 備品等については、特に避難所運営において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。 各指定避難所に備蓄倉庫1基を配備し、下記の備品を備蓄します。 ①発電機、②投光器、③コードリール、④懐中電灯、⑤簡易ラジオ、⑥ブルーシート、⑦ロープ、⑧車いす、⑨折りたたみ式担架、⑩メガホン、⑪間仕切り（パーテーション）、⑫簡易式トイレ（本体及びテント）、⑬折りたたみ式リヤカー、⑭燃料携行缶、⑮発電機用エンジンオイル、⑯電池式ランタン、⑰電気製品用乾電池、⑱ガスコンロ、⑲ガスボンベ <u>各避難所に設置されている備蓄倉庫にて保管できない場合は、市役所別館倉庫や津屋崎備蓄倉庫にて保管し、災害時必要に応じ各避難所へ搬出します。</u> （4）備蓄数 備蓄物資支給対象者数7，100人に配布する食料、飲料水、日用品について、年代と性別を考慮して、次のとおり目標数（割合）を設定します。 <table><tr><th>区 分</th><th>割合</th><th>備 考</th></tr><tr><td>3歳～ 69歳</td><td><u>71.4%</u></td><td>アルファ化米（五目御飯他）49,641人</td></tr><tr><td>2歳、 70歳以上</td><td><u>22.9%</u></td><td>アルファ化米（白粥）620+15,315人</td></tr><tr><td>0歳～1歳</td><td><u>1.5%</u></td><td>離乳食・粉ミルク・液体ミルク 1,078人</td></tr><tr><td>0歳～ 3歳</td><td><u>3.4%</u></td><td>紙おむつ（乳幼児用）2,355人</td></tr><tr><td>65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上</td><td><u>1.49%</u></td><td>紙おむつ（大人用）1,035人</td></tr><tr><td>10歳～ 55歳の女性</td><td><u>27.0%</u></td><td>生理用品 18,774人</td></tr></table> ※割合は、<u>令和 8 年 5 月 31日現在の住民基本台帳人口（69,596 人）</u>に基づき算定。	区 分	割合	備 考	3歳～ 69歳	<u>71.4%</u>	アルファ化米（五目御飯他）49,641人	2歳、 70歳以上	<u>22.9%</u>	アルファ化米（白粥）620+15,315人	0歳～1歳	<u>1.5%</u>	離乳食・粉ミルク・液体ミルク 1,078人	0歳～ 3歳	<u>3.4%</u>	紙おむつ（乳幼児用）2,355人	65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上	<u>1.49%</u>	紙おむつ（大人用）1,035人	10歳～ 55歳の女性	<u>27.0%</u>	生理用品 18,774人	<u>③粉ミルク</u> 乳児（0歳）用として、粉ミルクを備蓄します。 ③ 飲料水 想定される避難者全員に対して、<u>1日分（3ℓ）を目安として備蓄します。また、乳児用ミルクを作るための水と哺乳瓶洗浄用の水も備蓄します。</u> イ. 日用品 日用品については、避難生活において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。 ①毛布、②紙おむつ（大人用）、③紙おむつ（乳幼児用）、④哺乳瓶、⑤ウェットティッシュペーパー、⑥生理用品、⑦トイレットペーパー、⑧簡易携帯トイレ（便袋）、⑨タオル、⑩口腔衛生用品（歯磨きシート）、⑪食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）、⑫ラップ ウ. 備品等 備品等については、特に避難所運営において必要不可欠と考えられるものを備蓄します。 各避難所に備蓄倉庫1基を配備し、そのなかに下記の備品を備蓄します。 ①発電機、②投光器、③コードリール、④懐中電灯、⑤簡易ラジオ、⑥ブルーシート、⑦ロープ、⑧車いす、⑨折りたたみ式担架、⑩メガホン、⑪間仕切り（パーテーション）、⑫簡易式トイレ（本体及びテント）、⑬折りたたみ式リヤカー、⑭<u>特定小電力トランシーバー</u>、⑮燃料携行缶、⑯発電機用エンジンオイル、⑰電池式ランタン、⑱電気製品用乾電池、⑲ガスコンロ、⑳ガスボンベ 4）備蓄数 備蓄物資支給対象者数2，400人に配布する食料、飲料水、日用品について、年代と性別を考慮して、次のとおり目標数（割合）を設定します。 <table><tr><th>区 分</th><th>割合</th><th>備 考</th></tr><tr><td>3歳～ 69歳</td><td><u>77.7%</u></td><td>アルファ化米（五目御飯他）</td></tr><tr><td>1歳～2歳、 70歳以上</td><td><u>21.32%</u></td><td>アルファ化米（白粥）</td></tr><tr><td>0歳</td><td><u>0.98%</u></td><td>粉ミルク</td></tr><tr><td>0歳～ 3歳</td><td><u>4.19%</u></td><td>紙おむつ（乳幼児用）</td></tr><tr><td>65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上</td><td><u>1.47%</u></td><td>紙おむつ（大人用）</td></tr><tr><td>10歳～ 55歳の女性</td><td><u>25.67%</u></td><td>生理用品</td></tr></table> ※割合は、<u>平成 28 年 4 月 1日現在の住民基本台帳人口</u>に基づき算定。	区 分	割合	備 考	3歳～ 69歳	<u>77.7%</u>	アルファ化米（五目御飯他）	1歳～2歳、 70歳以上	<u>21.32%</u>	アルファ化米（白粥）	0歳	<u>0.98%</u>	粉ミルク	0歳～ 3歳	<u>4.19%</u>	紙おむつ（乳幼児用）	65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上	<u>1.47%</u>	紙おむつ（大人用）	10歳～ 55歳の女性	<u>25.67%</u>	生理用品
区 分	割合	備 考																																										
3歳～ 69歳	<u>71.4%</u>	アルファ化米（五目御飯他）49,641人																																										
2歳、 70歳以上	<u>22.9%</u>	アルファ化米（白粥）620+15,315人																																										
0歳～1歳	<u>1.5%</u>	離乳食・粉ミルク・液体ミルク 1,078人																																										
0歳～ 3歳	<u>3.4%</u>	紙おむつ（乳幼児用）2,355人																																										
65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上	<u>1.49%</u>	紙おむつ（大人用）1,035人																																										
10歳～ 55歳の女性	<u>27.0%</u>	生理用品 18,774人																																										
区 分	割合	備 考																																										
3歳～ 69歳	<u>77.7%</u>	アルファ化米（五目御飯他）																																										
1歳～2歳、 70歳以上	<u>21.32%</u>	アルファ化米（白粥）																																										
0歳	<u>0.98%</u>	粉ミルク																																										
0歳～ 3歳	<u>4.19%</u>	紙おむつ（乳幼児用）																																										
65 歳以上の介護認定者のうち 要介護 3以上	<u>1.47%</u>	紙おむつ（大人用）																																										
10歳～ 55歳の女性	<u>25.67%</u>	生理用品																																										

P7	2 計画策定に係る基本的考え方 ア. 食料、飲料水 ① 米飯類 <u>【対象】3歳から69歳まで及び職員(600人)</u> <u>【目標】1人1日当たり2食として3日分</u> $7,100人 \times 71.4\% \times 2食 = 10,138.8 + 600 = 10,738.8 \div 10,740食 (1日分)$ $10,740食 \times 3日分 = 32,220食 (3日分)$ ② パン類 <u>【対象】3歳から69歳まで及び職員(600人)</u> <u>【目標】1人1日当たり1食として3日分</u> $7,100人 \times 71.4\% \times 1食 = 5,069.4食 + 600 = 5,669.4 \div 5,670食 (1日分) \times 3$ $= 17,010食 (3日分)$ ③アレルギー対応米飯類（幼児、高齢者対応用） <u>【対象】2歳、70歳以上</u> <u>【目標】1人1日当たり3食として3日分</u> $7,100人 \times 22.9\% \times 3食 = 4,877.7 \div 4,900食 (1日分)$ $4,900食 \times 3日分 = 14,700食 (3日分) ※流通備蓄も含む$ ④離乳食 <u>【対象】乳児（0歳から1歳）</u> <u>【目標】1人1日当たり3食として3日分</u> $7,100人 \times 1.5\% \times 3食 = 319.5 \div 320食 (1日分)$ $320食 \times 3日分 = 960食 (3日分)$ ⑤粉ミルク・液体ミルク・アレルギー対応ミルク <u>【対象】乳児（0歳から1歳）</u> <u>【目標】（1）粉ミルク（1袋当たり27g）</u> $1回当たり27g(200ml分)として1日2回分の54g(400ml分)として3日分$ $7,100人 \times 1.5\% \times 54g/日 = 5,751g \div 5,800g = 214.8袋 \div 215袋 (1日分)$ $5,800g \times 3日分 = 17,400g \div 27g = 644.4袋 \div 645袋 (3日分)$	2 計画策定に係る基本的考え方 ア. 食料、飲料水 ①アルファ化米（五目御飯等） <u>【対象】3歳から69歳まで</u> <u>【目標】1人1日当たり3食として1日分</u> <u>アルファ化米は主食となるため予備も勘案し避難者全員分を備蓄。</u> $2,400人 \times 100\% \times 3食 \div 7,200食$ ②アルファ化米（白粥） <u>【対象】1歳、2歳、70歳以上</u> <u>【目標】1人1日当たり3食として1日分</u> $2,400人 \times 21.32\% \times 3食 \div 1,540食$ ③粉ミルク <u>【対象】乳児（0歳）</u> <u>【目標】1回当たり27g(200ml分)として1日5回分の135g(1,000ml分)</u> $2,400人 \times 0.98\% \times 135g/日 \div 3,180g$
----	--	---

<u>（２）液体ミルク（１缶あたり 120ml 又は 240ml）</u> <u>１回あたり 240ml として１日３回分の 720ml として３日分</u> <u>7,100 人×1.5%×720ml=76,680ml</u> <u>76,680ml÷120ml/缶=639（缶）≒640 缶（１日分） 240ml なら 320 缶</u> <u>640（缶）×3=1920 缶（３日分） 240ml なら 960 缶</u> <u>【アタッチメント】</u> <u>7,100 人×1.5%=106.5 個≒107 個</u> <u>（３）アレルギー対応ミルク（対象：乳児の 0.46%）</u> <u>（対象：乳児の 0.46%【0-1 歳の相談件数年間 2-5 人ほど 0-1 歳全人口（1,078 人）の 5 人を対象として割合を算出】）</u> <u>１回あたり 26.1 g（180 ml 分）として１日５回分の 130.5 g</u> <u>（7,100 人×1.5%）×0.46%=0.4899 人≒1 人</u> <u>130.5 g×1 人=130.5 g（１日分）</u> <u>130.5 g×3 日=391.5 g（３日分）</u> ⑥飲料水 【対象】避難者全員 【目標】１人１日当たり 3ℓ（500ml 換算で 6 本）＋ミルク用＋哺乳瓶洗浄用として 3 日分。 （7,000 人×6 本）＋（7,100 人×1.5%×1 本）＋（7,100 人×1.5%×1 本） ＝42,213≒42,220 本（１日分） 42,220×3＝126,660 本（３日分） ※500ml＝1 本として換算。 イ．日用品 ①毛布 【対象】避難者全員 【目標】１人当たり 1 枚を避難者全員 <u>7,100 枚/人≒7,100 枚</u> ②紙おむつ（大人用） 【対象】65 歳以上の介護認定者のうち要介護 3 以上 【目標】１人１日当たり 6 枚として <u>7,100 人×1.49%×6 枚/日=634.74≒640 枚（１日分）</u> <u>640 枚×3 日分=1,920 枚（３日分）</u>	④飲料水 【対象】避難者全員 【目標】<u>１人１日当たり 3ℓ（500ml 換算で 6 本）＋ミルク用＋哺乳瓶洗浄用。</u> <u>（2,400 人×6 本）＋（2,400 人×0.98%×2 本）＋（2,400 人×0.98%×1 本≒14,500 本</u> <u>※500ml＝1 本として換算。</u> イ．日用品 ①毛布 【対象】避難者全員 【目標】１人当たり 1 枚を避難者全員 <u>2,400 枚/人≒2,400 枚</u> ②紙おむつ（大人用） 【対象】65 以上の介護認定者のうち要介護 3 以上 【目標】１人１日当たり 6 枚として <u>2,400 人×1.47%×6 枚/日≒220 枚</u>
--	---

③紙おむつ（乳幼児用） 【対象】0 歳から 3 歳まで 【目標】1 人 1 日当たり 8 枚として $7,100 \text{ 人} \times 3.4\% \times 8 \text{ 枚/日} = 1,931.2 \div 1,940 \text{ 枚 (1 日分)}$ $1,940 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日分} = 5,820 \text{ 枚 (3 日分)}$ ④哺乳瓶 【対象】乳児（0 歳から 1 歳） 【目標】1 人当たり 1 本 $7,100 \text{ 人} \times 1.5\% \times 1 \text{ 本/日} \times 1/3 = 35.5 \div 36 \text{ 本}$ ⑤哺乳瓶（使い捨て哺乳瓶） 【対象】乳児（0 歳から 1 歳） 【目標】1 人 1 日あたり 2 本（粉ミルク使用時用） $7,100 \text{ 人} \times 1.5\% \times 2 \text{ 本/日} \times 2/3 = 142 \text{ 本}$ ⑤ウェットティッシュペーパー（アルコールタイプも含む） 【対象】避難者全員 ウェットティッシュペーパー（ノンアルコールタイプ） 【目標】1 人当たり 1 袋 $7,100 \text{ 人} \times 1 \text{ 袋} = 7,100 \text{ 袋 (3 日分)}$ ウェットティッシュペーパー（アルコールタイプ） 【目標】1 避難所 1 日当たり 3 袋として 3 日分 $27 \text{ 避難所} \times 3 \text{ 袋} = 81 \text{ 袋 (1 日分)}$ $81 \text{ 袋} \times 3 \text{ 日分} = 243 \text{ 袋}$ ⑥生理用品 【対象】10 歳から 55 歳までの女性 【目標】4 週間に 1 回として換算し 1 人 1 日当たり 8 枚として 3 日分 $7,100 \text{ 人} \times 27.0\% \div 4 \text{ 週} \times 8 \text{ 枚/日} \times 1 \text{ 日} = 3,834 \text{ 枚} \div 3,840 \text{ 枚 (1 日分)}$ $3,840 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日分} = 11,520 \text{ 枚}$	③紙おむつ（乳幼児用） 【対象】0 歳から 3 歳まで 【目標】1 人 1 日当たり 8 枚として $2,400 \text{ 人} \times 4.19\% \times 8 \text{ 枚/日} \div 810 \text{ 枚}$ ④哺乳瓶 【対象】0 歳 【目標】1 人 1 日当たり 1 本として $2,400 \text{ 人} \times 0.98\% \times 1 \text{ 本/日} \div 25 \text{ 本}$ ⑤ウェットティッシュペーパー 【対象】避難者全員 【目標】ポケットウェットティッシュペーパー 1 人 1 袋として $2,400 \text{ 人} \times 1 \text{ 袋} \div 2,400 \text{ 袋}$ ⑥生理用品 【対象】10 歳から 55 歳までの女性 【目標】4 週間に 1 回として換算し 1 人 1 日当たり 8 枚として 1 日分 $2,400 \text{ 人} \times 25.67\% \div 4 \text{ 週} \times 8 \text{ 枚/日} \times 1 \text{ 日} \div 1,233 \text{ 枚}$
---	--

⑦トイレットペーパー 【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（$100\%-3.4\%-1.49\%=95.11\%$） 【目標】1人1回80cm×5回=1日当たり4mとして3日分 $\frac{7,100人 \times 95.11\% \times 4m/日 \times 1日}{60m/ロール} = 450.187 \text{ ロール}$$\div 460 \text{ ロール} (1 \text{ 日分})$$460 \text{ ロール} \times 3 \text{ 日分} = 1,380 \text{ ロール}$$\times 60m = 1 \text{ ロールとして換算。}$ ⑧簡易携帯トイレ（便袋） 【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（$100\%-3.4\%-1.49\%=95.11\%$）及び職員等 【目標】1人1日当たり5袋（1袋=1回分）として3日分 $\frac{7,100人 \times 95.11\% \times 5 \text{ 袋} \times 1日}{600 \times 5} = 36,764.05$$\div 36,770 \text{ 枚} (1 \text{ 日分})$$36,770 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日分} = 101,310 \text{ 袋} (3 \text{ 日分})$ ⑨タオル 【対象】避難者全員 【目標】1人1日当たり1枚を避難者全員 $\frac{7,100 \text{ 枚/人}}{7,100 \text{ 枚}} = 1 \text{ 日分}$$7,100 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日分} = 21,300 \text{ 枚} (3 \text{ 日分})$ ⑩口腔衛生用品（歯磨きシート） 【対象】避難者全員 【目標】1人1日当たり3枚として3日分 $\frac{7,100/人 \times 3 \text{ 枚}}{21,300 \text{ 枚}} = 1 \text{ 日分}$$21,300 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日分} = 63,900 \text{ 袋}$ ⑪食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン） 【対象】2歳以上の避難者全員 【目標】1人当たり皿、椀、先割れスプーン各1個のセット $7,100 \text{ セット} \times 98.5\% = 7,000 \text{ セット}$ ⑫ラップ 【対象】2歳以上の避難者全員 【目標】1人当たり1m/日として3日分 $\frac{7,100人 \times 1m \times 98.5\%}{7,000m} = 1 \text{ 日分}$$7,000m \times 3 \text{ 日分} = 21,000m$$1 \text{ 本(巻)} 100m \text{として、} 210 \text{ 本(巻)} \text{【1日分】} 210 \text{ 本(巻)} \text{【3日分】}$	⑦トイレットペーパー 【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（$100\%-4.19\%-1.47\%=94.34\%$） 【目標】1人1回80cm×5回=1日当たり4mとして1日分 $\frac{2,400人 \times 94.34\% \times 4m/日 \times 1日}{60m/ロール} \div 151 \text{ ロール}$$\times 60m = 1 \text{ ロールとして換算。}$ ⑧簡易携帯トイレ（便袋） 【対象】紙おむつ支給対象者を除く全員（$100\%-4.19\%-1.47\%=94.34\%$） 【目標】1人1日当たり5袋（1袋=1回分）として1日分 $\frac{2,400人 \times 94.34\% \times 5 \text{ 袋} \times 1日}{11,320 \text{ 袋}} = 1 \text{ 日分}$ ⑨タオル 【対象】避難者全員 【目標】1人当たり1枚を避難者全員 $\frac{2,400 \text{ 枚/人}}{2,400 \text{ 枚}} = 1 \text{ 日分}$ ⑩口腔衛生用品（歯磨きシート） 【対象】避難者全員 【目標】1人当たり1回分（1枚） $\frac{2,400 \text{ 枚/人}}{2,400 \text{ 枚}} = 1 \text{ 日分}$ ⑪食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン） 【対象】1歳以上の避難者全員 【目標】1人当たり皿、椀、先割れスプーン各1個のセット $2,400 \text{ セット} \times 99.02\% \div 2,380 \text{ セット}$ ⑫ラップ 【対象】1歳以上の避難者全員 【目標】1人当たり1m/日として1日分 $\frac{2,400人 \times 1m \times 99.02\%}{2,380m} = 1 \text{ 日分}$$1 \text{ 本(巻)} 100m \text{として、} 24 \text{ 本(巻)}$
---	--

<u>⑬おしりふき（大人用）</u> <u>【対象】 65 歳以上の介護認定者のうち要介護 3以上</u> <u>【目標】 1 人当たり 1 袋</u> $7,100 \text{ 人} \times 1.49\% = 105.79 \div 110 \text{ 袋 (1 日分)}$ $110 \text{ 袋} \times 3 \text{ 日分} = 330 \text{ 袋}$ <u>⑭おしりふき（乳幼児用）</u> <u>【対象】 0 歳から 3 歳まで</u> <u>【目標】 1 人当たり 1 袋</u> $7,100 \text{ 人} \times 3.4\% = 241.4 \div 250 \text{ 枚 (1 日分)}$ ウ. 備品等 ①発電機 <u>【目標】 自家用発電設備等を有していない指定避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ②投光器 <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ③コードリール（20m） <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 2 個</u> ④懐中電灯 <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 2 個</u> ⑤簡易ラジオ <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ⑥ブルーシート（10m×10m） <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 4 枚</u> ⑦ロープ（20m） <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 1 巻</u> ⑧車いす <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 1 台</u> ⑨折りたたみ式担架 <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 1 台</u> ⑩メガホン <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ⑪間仕切り（パーテーション） <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 4 セット</u> ⑫簡易式トイレ（本体及びテント） <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 6 台</u> ⑬折りたたみ式リヤカー <u>【目標】 指定避難場所 1 か所当たり 1 台</u> <u>⑭燃料携行缶（20ℓ）</u> <u>【目標】 発電機 1 台当たり 1 缶</u>	ウ. 備品等 ①発電機 <u>【目標】 自家用発電設備等を有していない指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ②投光器 <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ③コードリール（20m） <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 個</u> ④懐中電灯 <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 個</u> ⑤簡易ラジオ <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ⑥ブルーシート（10m×10m） <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 4 枚</u> ⑦ロープ（20m） <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 1 巻</u> ⑧車いす <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 1 台</u> ⑨折りたたみ式担架 <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 1 台</u> ⑩メガホン <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台</u> ⑪間仕切り（パーテーション） <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 4 セット</u> ⑫簡易式トイレ（本体及びテント） <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 6 台</u> ⑬折りたたみ式リヤカー <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 1 台</u> <u>⑭特定小電力トランシーバー</u> <u>【目標】 指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台</u>
---	---

P13	⑮発電機用燃料（20ℓ） 【目標】発電機 1 台当たり 20ℓ ⑯発電機用エンジンオイル（10 年保存可能分） 【目標】発電機 1 台当たり 1 缶 ⑰電池式ランタン 【目標】指定避難場所 1 か所当たり 5 台 ⑱電気製品用乾電池（使用推奨期限 10 年のアルカリ乾電池等） 【目標】指定避難場所 1 か所で備蓄している電気製品 1 回分の電池 ⑲ガスコンロ 【目標】指定避難場所 1 か所当たり 2 台 ⑳ガスボンベ（7 年保存可能分） 【目標】ガスコンロ 1 台当たり 2 缶	⑮燃料携行缶（20ℓ） 【目標】発電機 1 台当たり 1 缶 ⑯発電機用エンジンオイル（10 年保存可能分） 【目標】発電機 1 台当たり 1 缶 ⑰電池式ランタン 【目標】指定緊急避難場所 1 か所当たり 5 台 ⑱電気製品用乾電池（使用推奨期限 10 年のアルカリ乾電池等） 【目標】指定緊急避難場所 1 か所で備蓄している電気製品 1 回分の電池 ⑲ガスコンロ 【目標】指定緊急避難場所 1 か所当たり 2 台 ⑳ガスボンベ（7 年保存可能分） 【目標】ガスコンロ 1 台当たり 2 缶
-----	---	--

P14	3 整備（購入）計画 備蓄品の整備（購入）について、次のとおり計画します。 整備を始める初年度に<u>整備前の食料・飲料水</u>、日用品、備品の<u>備蓄状況を鑑み必要量</u>を購入します。<u>次年度以降</u>からは食料・飲料水は必要全量から保存期間で除した量を毎年均等に整備します。日用品について、品質保証期限のないものについては、基本、5 年を保存期間とし整備しますが、保存状態を確認しながら、品目により保存期間は設定していきます。 （１）食料、飲料水 <u>食料品と飲料水は保存期間 5 年以上のもの、粉ミルク及び液体ミルク等は保存期間 18 か月以上かつ個包装のもの</u>を購入します。具体的には、現在の備蓄量や保存期間から総合的に勘案し、計画的に購入していきます。 また、<u>粉ミルク及び液体ミルク等</u>については、市立保育所との連携で、無駄のない活用を図っていきます。 （２）日用品 ア. 毛布 保存、衛生面を考慮して、<u>必要に応じ真空パック入り</u>のものを購入します。 イ. 紙おむつ、哺乳瓶、ウェットティッシュペーパー、生理用品、トイレットペーパー、簡易携帯トイレ（便袋）、タオル、口腔衛生用品（歯磨きシート）、食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）、ラップ、<u>おしりふき</u> 保存状態や衛生面を考慮しながら、計画的に購入、更新します。 備蓄物資として適さなくなった場合は、可能な限り再利用等を検討します。 （３）備品等 保存状況や耐用年数等を考慮しながら、計画的に購入、更新します。	3 整備（購入）計画 備蓄品の整備（購入）について、次のとおり計画します。 整備を始める初年度に食料・飲料水、日用品、備品の必要全量を購入します。2 年目からは食料・飲料水は必要全量から保存期間で除した量を毎年均等に整備します。日用品について、品質保証期限のないものについては、基本、5 年を保存期間とし整備しますが、保存状態を確認しながら、品目により保存期間は設定していきます。 （１）食料、飲料水 <u>アルファ化米と飲料水は保存期間 5 年以上のもの、粉ミルクは保存期間 18 か月</u>のものを購入します。具体的には、現在の備蓄量や保存期間から総合的に勘案し、計画的に購入していきます。 また、<u>粉ミルク</u>については、市立保育所との連携で、無駄のない活用を図っていきます。 （２）日用品 ア. 毛布 保存、衛生面を考慮して、<u>真空パック入り</u>のものを購入します。 イ. 紙おむつ、哺乳瓶、ウェットティッシュペーパー、生理用品、トイレットペーパー、簡易携帯トイレ（便袋）、タオル、口腔衛生用品（歯磨きシート）、食器セット（プラスチックの皿、椀、先割れスプーン）、ラップ 保存状態や衛生面を考慮しながら、計画的に購入、更新します。 備蓄物資として適さなくなった場合は、可能な限り再利用等を検討します。 （３）備品等 保存状況や耐用年数等を考慮しながら、計画的に購入、更新します。
-----	--	--

P16

4家庭内備蓄について

様々な媒体や機会を通じて家庭や地域、事業所等における備蓄の重要性について継続的に広報し、家庭内等の備蓄を促進、充実させていきます。

＜家庭で備蓄することが望ましい物＞

(1)食料

・最低3日分、できれば1週間分を備蓄すべき物資の目安とする。

・日常生活に使い、乾物類のように長期間の保存に耐えられるもの

・持ち運びに便利で、調理に手間がかからないもの

・必要最小限のエネルギーや栄養を確保できるもの

(例示)

主食	アルファ化米、レトルト食品、米、冷凍食品、即席めん、パスタ、ビスケット、クラッカー、シリアル等
主菜 副菜	缶詰、レトルト食品、乾燥食品（ひじき、わかめ、昆布、高野豆腐、干し椎茸、かんぴょう、切り干し大根等）、梅干、漬物、らっきょう等
汁物	インスタントスープ類
調味料	砂糖、塩、みそ、しょうゆ、酢、コンソメ等
嗜好品	あめ、チョコレート、果物缶詰、スナック菓子、ふりかけ等
飲料	ミネラルウォーター、お茶類、スポーツ飲料、野菜ジュース、スキムミルク等

(2)飲料水

・1人当たり1日3ℓ以上

・保存期間の長いもの

(3)日用品、備品等

携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、軍手、タオル、ウェットティッシュペーパー、救急セット、使い捨てカイロ、カセットコンロ等

4家庭内備蓄について

様々な媒体や機会を通じて家庭や地域、事業所等における備蓄の重要性について継続的に広報し、家庭内等の備蓄を促進、充実させていきます。

＜家庭で備蓄することが望ましい物＞

(1)食料

・3日以上

・日常生活に使い、乾物類のように長期間の保存に耐えられるもの

・持ち運びに便利で、調理に手間がかからないもの

・必要最小限のエネルギーや栄養を確保できるもの

(例示)

主食	アルファ化米、レトルト食品、米、冷凍食品、即席めん、パスタ、ビスケット、クラッカー、シリアル等
主菜 副菜	缶詰、レトルト食品、乾燥食品（ひじき、わかめ、昆布、高野豆腐、干し椎茸、かんぴょう、切り干し大根等）、梅干、漬物、らっきょう等
汁物	インスタントスープ類
調味料	砂糖、塩、みそ、しょうゆ、酢、コンソメ等
嗜好品	あめ、チョコレート、果物缶詰、スナック菓子、ふりかけ等
飲料	ミネラルウォーター、お茶類、スポーツ飲料、野菜ジュース、スキムミルク等

(2)飲料水

・1人当たり1日3ℓ以上

・保存期間の長いもの

(3)日用品、備品等

携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、軍手、タオル、ウェットティッシュペーパー、救急セット、使い捨てカイロ、カセットコンロ等

7 流通備蓄について

市は、企業等とあらかじめ協定を締結し、災害が起こった場合、必要な物資等を調達する流通備蓄を進めています。現在は、次のとおり流通備蓄に関する協定を締結していますが、重層化してより実効性のある流通備蓄とするため、今後も協定の締結を進めていきます。なお、協定を締結した企業等の中には、重機による復旧作業提供や放送による情報提供等、流通備蓄以外のサービスも含まれています。

【流通備蓄等に関する協定一覧】

団体・個人企業名	主な業種
福津市内等郵便局	郵便配達業務
宗像建設協会	建設業者の団体運営
福間土木協同組合	土木建設業
NPO法人コメリ災害対策センター	防災関連物資、災害復旧物資
平元産業株式会社宗像支店	土木工事業
(株)かねやす福間店	土嚢袋等建設資材
株式会社丸宗土木	土木建設業
有限会社アクロス	土木建設業
株式会社福津建設	土木建設業
株式会社地建開発	土木工事業
株式会社松原組	土木建設業
宗像建築組合	建築業者の団体運営
有限会社柴田工業	土木工事業
小野産業株式会社	土木工事業
日本道路株式会社福岡営業所	土木工事業
国土交通省九州地方整備局	官公庁
イオンモール株式会社	食料・生活物資
イオン九州株式会社	食料・生活物資
宗像医師会	医療救護活動
ジェイコム九州	コミュニティチャンネル放送
福岡県公共嘱託土地家屋調査士協会	土地家屋調査
福岡県立光陵高等学校	県有施設
福岡県立水産高等学校	県有施設
社会福祉法人南十字福祉会	福祉避難所
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	清涼飲料水販売
福津市内郵便局（日本郵便）	郵便配達業務
株式会社 創優	土木建設業
株式会社 ゼンリン	地図製作、販売業

7 流通備蓄について

市は、企業等とあらかじめ協定を締結し、災害が起こった場合、必要な物資等を調達する流通備蓄を進めています。現在は、次のとおり流通備蓄に関する協定を締結していますが、重層化してより実効性のある流通備蓄とするため、今後も協定の締結を進めていきます。なお、協定を締結した企業等の中には、重機による復旧作業提供や放送による情報提供等、流通備蓄以外のサービスも含まれています。

【流通備蓄等に関する協定一覧】

団体・個人企業名	主な業種
福津市内等郵便局	郵便配達業務
宗像建設協会	建設業者の団体運営
福間土木協同組合	土木建設業
NPO法人コメリ災害対策センター	防災関連物資、災害復旧物資
平元産業株式会社宗像支店	土木工事業
(株)かねやす福間店	土嚢袋等建設資材
株式会社丸宗土木	土木建設業
有限会社アクロス	土木建設業
株式会社福津建設	土木建設業
株式会社地建開発	土木工事業
株式会社松原組	土木建設業
コカ・コーラウエスト株式会社	清涼飲料水販売
宗像建築組合	建築業者の団体運営
有限会社柴田工業	土木工事業
小野産業株式会社	土木工事業
日本道路株式会社福岡営業所	土木工事業
国土交通省九州地方整備局	官公庁
イオンモール株式会社	食料・生活物資
イオン九州株式会社	食料・生活物資
宗像医師会	医療救護活動
ジェイコム九州	コミュニティチャンネル放送
福岡県公共嘱託土地家屋調査士協会	土地家屋調査
福岡県立光陵高等学校	県有施設
福岡県立水産高等学校	県有施設
社会福祉法人南十字福祉会	福祉避難所
コカ・コーラウエスト株式会社	清涼飲料水販売
福津市内郵便局（日本郵便）	郵便配達業務
株式会社 創優	土木建設業

P18

宗像農業協同組合	農業協同組合
キューヘングリーンサービス株式会社	建設業（除去作業等）、重機の提供
宗像地区事務組合	水道事業
まつみ(株)	造園業
(株)西住設備	水道工事 官工事
九州朝日放送(株)	メディア（テレビ・ラジオ）
医療法人宗像水光会総合病院	医療機関（福祉避難所）
一般社団法人宗像医師会病院	医療機関（福祉避難所）
医療法人庄正会蜂須賀病院	医療機関（福祉避難所）
(株)ミスターマックス	食糧・生活物資の販売
三角商事(株)	食糧・生活物資の販売
(株)グッデイ	防災関連物資の販売 災害復旧物資の販売
(株)ゆめマート北九州	食糧・生活物資の販売
マックスバリュ九州(株)	食糧・生活物資の販売
ダイレックス(株)	食糧・生活物資の販売
社会福祉法人福津市社会福祉協議会	災害時のボランティア活動
ヤフー(株)	災害時の情報発信
宗像農業協同組合	物資集配拠点施設
(株)西鉄ストア	食糧・生活物資の販売
グリーンコープ生活協同組合ふくおか	食糧・生活物資の販売
(有)ウメダ	土木工事業
ヤマト運輸(株)北九州主管支店	救援物資の集積場所での物資管理及び配送
(株)ナフコ	物資の供給
九州電力送配電(株)福岡配電事業所	電気事業
(株)ダイナム	災害ボランティア等の活動拠点として駐車場及び店舗施設の一部の貸し出し
西日本電信電話(株)	特設公衆電話の設置及び利用・管理等に関する協定
吉水塗装 株式会社	資材・物資の運搬、撤去作業支援
福岡県行政書士会	行政書士業務

(令和8年7月現在)

株式会社 ゼンリン	地図製作、販売業
宗像農業協同組合	農業協同組合
キューヘングリーンサービス株式会社	建設業（除去作業等）、重機の提供
宗像地区事務組合	水道事業

(平成 28年8月現在)

裏表紙

8 備蓄物資の保管場所

1	福津市役所
2	津屋崎倉庫
3	ふくとぴあ
4	中央公民館（避難所運営関係物資のみ）
5	福津市複合文化センター文化会館（避難所運営関係物資のみ）
6	宮司コミュニティセンター
7	上西郷小学校
8	神興小学校
9	神興東小学校
10	福間小学校
11	福間南郷づくり交流センター
12	勝浦小学校
13	大和保育園（ミルクのみ）
14	原町公民館（避難所運営関係物資のみ）
15	福間会館（避難所運営関係物資のみ）
16	上西郷郷づくり交流センター（避難所運営関係物資のみ）
17	農林漁業体験実習館「あんずの里」（避難所運営関係物資のみ）

上記以外に、必要に応じ物資管理委託業者が管理する物流倉庫を活用し、備蓄物資の管理保管を行います。

8 備蓄物資の保管場所

備蓄品と備蓄場所

※表内に倉庫が記されている場所に備蓄する。

指定緊急避難場所	施設名	全避難所の収容人員(人)	郷づくり協議会	備蓄品管理場所
指定	あんずの里農林業体験実習館	170	勝浦	
	勝浦小学校	90	勝浦	倉庫 備品
指定	上西郷小学校	160	上西郷	倉庫 備品
指定	神興小学校	140	神興	倉庫 備品
	県立光陵高等学校	200	神興	
指定	福間東中学校	200	神興東	
	神興東小学校	200	神興東	倉庫 備品
指定	福津市文化会館	850	津屋崎	倉庫 備品
	津屋崎小学校	180	津屋崎	
	県立水産高等学校	180	津屋崎	
	福祉会館「潮湯の里夕陽館」	300	津屋崎	
	津屋崎中学校	330	津屋崎	
	津屋崎体育センター	150	津屋崎	
指定	福間小学校	190	福間	倉庫 備品
	福間体育センター	200	福間	
指定	福間南小学校	170	福間南	倉庫 備品
	福間中学校	260	福間南	
指定	宮司コミュニティセンター	210	宮司	倉庫 備品
指定	健康福祉総合センター（ふくとぴあ）	1,360	市管理	倉庫 備品 日用品
	福津市中央公民館	730	市管理	
	福津市立図書館	350	市管理	
	福津市役所		市管理	倉庫 食料 日用品 備品
	旧津屋崎庁舎		市管理	倉庫 食料 日用品 備品
合計	指定緊急避難場所 9 箇所 同上以外の指定避難所12箇所	6,620		

※語句説明

語句	内 容	管理の方法等
食料	アルファ化米・水など	集中管理
日用品	おむつ・生理用品など	集中管理
備品	発電機・救助用具など	分散監理
倉庫	備蓄倉庫	上記の場所に設置

	福津市備蓄計画 令和 9 年 月 発行 福津市 編集 福津市 総務部 危機管理課 〒811-3293 福岡県福津市中央 1 丁目 1-1 福津市役所本館 2 階 TEL 0940-43-8107 FAX 0940-43-3168 E-mail anzen@city.fukutsu.lg.jp	福津市備蓄計画 平成 2 8 年 8 月 発行 福津市 編集 福津市 総務部 防災安全課 〒811-3293 福岡県福津市中央 1 丁目 1-1 福津市役所本館 2 階 TEL 0940-43-8107 FAX 0940-43-3168 E-mail anzen@city.fukutsu.lg.jp
--	--	--